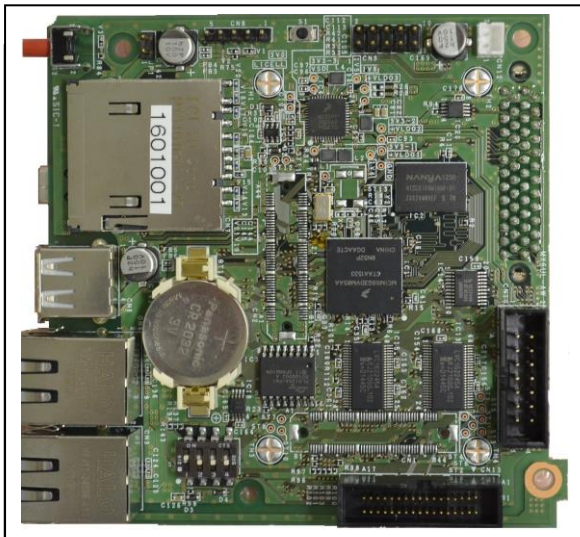


MXUL6-GS(開発中)

i.MX 6UltraLite は i.MX 6 の名を関していますが、CPU コアは CortexA7 で、製品セグメントとしては小型・低価格の ARM9 系デバイス i.MX 25 などの置き換えが可能な製品です。 i.MX25 と比較すると CPU 性能は 2 倍程度 (DMIPS 換算で i.MX25 が 440 6UltraLite が 1003)、IO の拡張性はより高く、デバイスはむしろ低価格で、SBC としての主要 LSI は CPU+SPI-NOR 一個+DDR 一個だけで可能であり、しかも 4 層貫通基板で実現できます。

MUL6-GS はこの 6UltraLite を使ったボードで、既存製品 (過去 10 年製造サポートを継続中) である M-CARD1500 互換がベースのため、LCD やカメラ IF は無いのですが、ローカルバスやバックアップ SRAM が付いています。

なお本ボードは、i.MX 6UltraLite・SPI-NOR・DDRSDRAM を集積した CPU モジュールとして設計された MXUL6-MX と呼ばれる IP パッケージ製品の第一弾で、M-CARD1500 互換の IO 部を拡張する形で開発したのですが、MXUL6-MX 自体は IP パッケージ (回路図・部品表・ガーバーデータ・Uboot・Linux カーネルとボードとしての製造権をセットにしたもの) として販売しており、本ボードのようにユーザー所望の IO 部を拡張した SBC としてセミカスタム開発する形での提供が基本形となっています。



●ハードウェア

CPU i.MX 6UltraLite 528MHz

メモリー RAM : DDR3 SDRAM 256MB

ROM : SPI-Nor64MB バッテリバックアップ SRAM : 512KByte

LAN : 10/100BASE x 2 USB : HOST x 1/OTG x 1 フルサイズ MMC カードスロット x 1

RTC/WDT UART : RS232x1 CMOSx1 16Bit ローカルバス (SRAM バス)

電源 : DC5V 基板寸法 : 96.5x97.75mm

●ソフトウェア

OS Linux (YoctoLinux Qt5.3 サポート 5.5 計画)



テラソリューション株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-6 大宮第 2 ビル

Mail info@terasolution.jp

URL <http://www.terasolution.jp/>